



2026年4月23日

各 位

会 社 名 株式会社テノ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 池内 比呂子
(コード番号：7037 東証スタンダード・福証)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 岡 田 基 司
(TEL. 092-263-3550)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2026年4月23日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状の分析・評価を行い、今後の取組みの内容を更新いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参考ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2026年4月23日

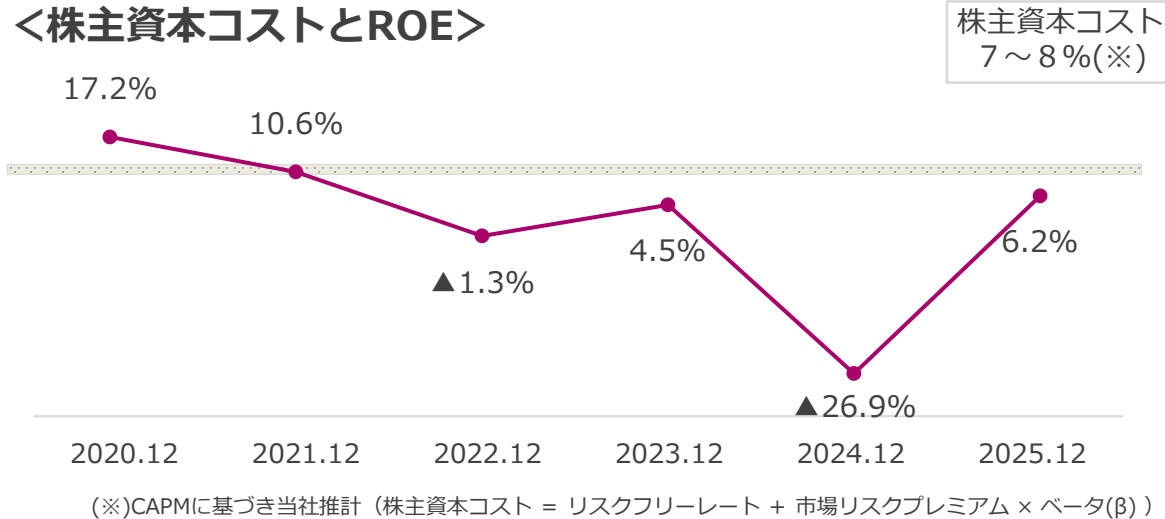
株式会社テノ. ホールディングス（証券コード：7037）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

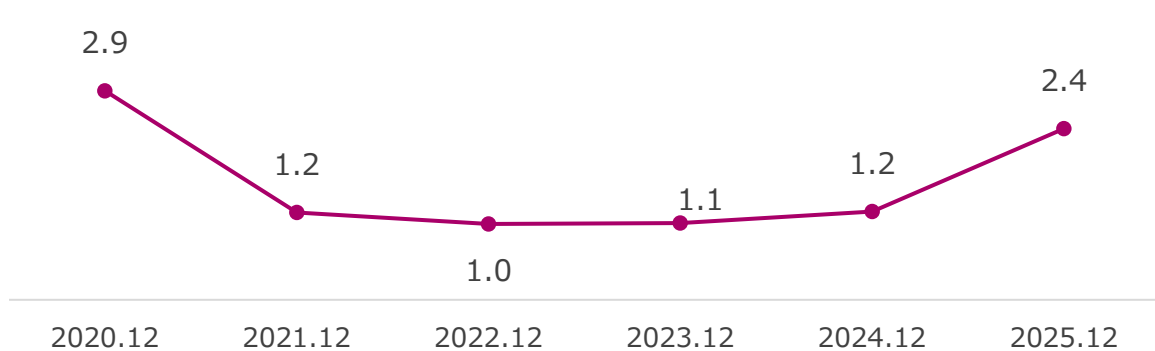
【現状分析・評価（資本収益性、市場評価）】

- ・ 2022年以降、ROEが当社想定資本コストを下回って推移
- ・ PBRは1倍程度で推移していたが、2025年2.4と上昇。
- 収益改善は大前提とし、フリーキャッシュフローの増加や資本構成の適正化にも注力することで、より一層の成長性を示していくことが必要であると認識

<株主資本コストとROE>

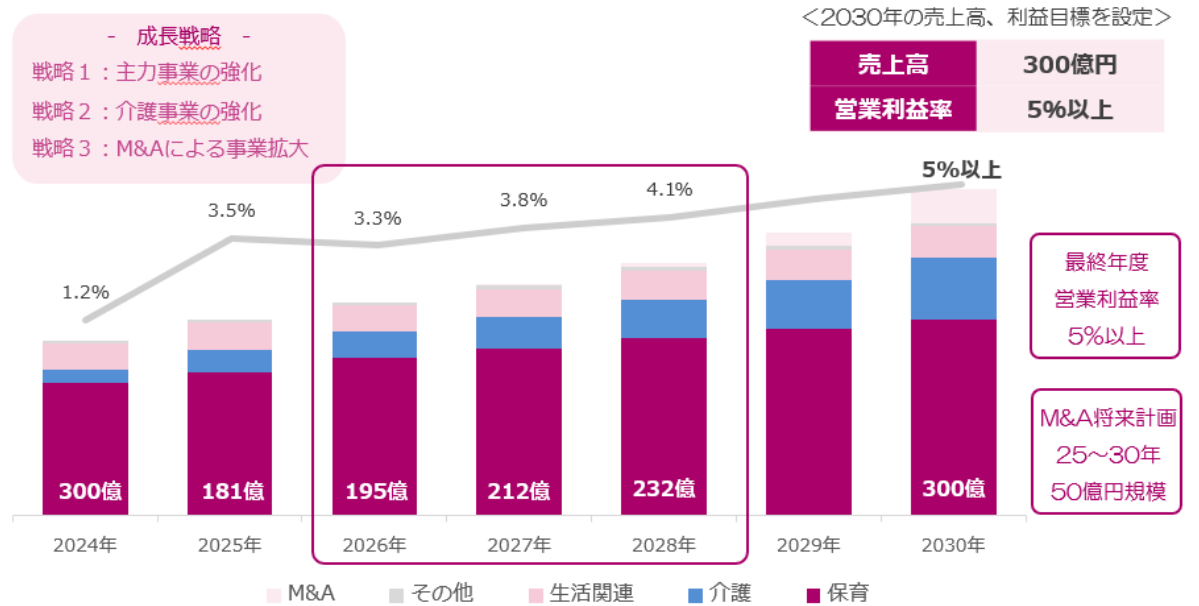


<PBR> 株価931円 (2025年12月30日終値) (単位：倍)



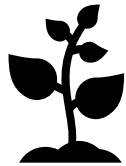
【企業価値向上のための今後の取組み】

- ・ 長期ビジョン「tenoVISION2030」の実現により、期待成長率の向上と株主資本コストの減少へ



- ・ 収益性の向上 (ROEの向上)
 保育事業も拡大させつつ、更なるCFの創出に向け注力
 ➢ 主力である保育事業で獲得したCFを介護事業やM&Aへ資金投下
- ・ 株主還元についても財務状況を勘案しながら、積極的に、還元拡充に向けて検討を継続していく

事業成長による企業価値向上



- ・ 中期経営計画、長期ビジョンの達成により、市場からの期待成長率を向上
- ・ 成長投資の指標としてEBITDAを重視し、収益性を高める

株主様への直接的な還元



- ・ 2025年配当金：10円
2026年も同様10円を予想
- ・ 株主優待制度を今期より導入

IR活動の強化



- ・ 投資家向け決算説明会、会社説明会の開催・参加頻度を増やす
- ・ 情報開示の充実
- ・ 中長期的な戦略の積極的な開示を行う

PBR、ROEの現状の課題を認識し、収益性・資本効率の改善に取り組み、事業成長と株主還元の両輪で、安定的かつ継続的な企業価値向上を目指す